

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20221004	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	複合極限場原子間力顕微鏡を用いた絶縁体表面での力学的な原子分子操作法の開発	研究代表者 (所属・職)	菅原 康弘（大阪大学・大学院工学研究科・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>原子操作及びその機構解明、ナノ構造体の構築、磁性原子操作及び磁気交換相互作用について検出手法の開発等で、着実に研究成果が出ていると評価できる。学術専門誌への掲載件数や国際学会での招待講演も多く、国際的にもレベルの高い研究を遂行していることは高く評価される。</p> <p>本研究で設定している研究目標が達成した暁には、どのような学術的インパクトがあり、さらにどのような応用が見込まれるのかという点をもう少し明確に意識すると、さらに大きく研究が発展するものと考えられる。</p>	